

平成25年度 高冷地水稻生育速報(第6報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況

品種名	年度	出穂期	(平年との差)
コシヒカリ	本年	8月8日	(平年並み)
	前年	8月4日	
	平年	8月8日	
ひとめぼれ	本年	8月2日	(3日早い)
	前年	8月1日	
	平年	8月5日	
たかやまもち	本年	7月27日	(2日早い)
	前年	7月27日	
	平年	7月29日	
ひだほまれ	本年	7月30日	(4日早い)
	前年	8月1日	
	平年	8月3日	

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値：過去5年間の平均値

()内の数値は対平年値

1) 気象概況

気温は、6月末、平年よりやや低かったが、7月に入り平年並みから高い傾向となった。7月第5半旬になり、曇雨天が多く、平均気温や最低気温は平年並みからやや高いものの最高気温がやや低い天候となった。7月第6半旬も曇雨天の傾向は続き、気温がやや低く、日照時間が短い傾向となった。8月になり気象条件は平年並みとなった。

2) 生育状況

「ひとめぼれ」「コシヒカリ」まで出穂が確認された。出穂期は、「ひとめぼれ」で平年より3日早い8月2日、「コシヒカリ」で平年並みの8月8日であった。「コシヒカリ」では、7月第6半旬の降雨とそれに伴う気温の低下から、生育の進むスピードが鈍化したと考えられた。

今年度は、草丈・茎数において「平年並みからやや短い(少ない)」という傾向であった。葉色は、幼穂形成期頃(出穂約30日前)より、平年よりもやや薄い傾向が出穂以降も続いた。このことから品種によっては品質や収量への影響が危惧される。

3) 病虫害等の発生状況

7月より発生していた紋枯病の上位進展は止まったように思われる。紋枯病の被害は、品種などにも差があり、場内では「たかやまもち」「ひとめぼれ」などの被害が大きいようである。他に、斑点米カメムシ類が見られ注意が必要である。

4) 今後の管理

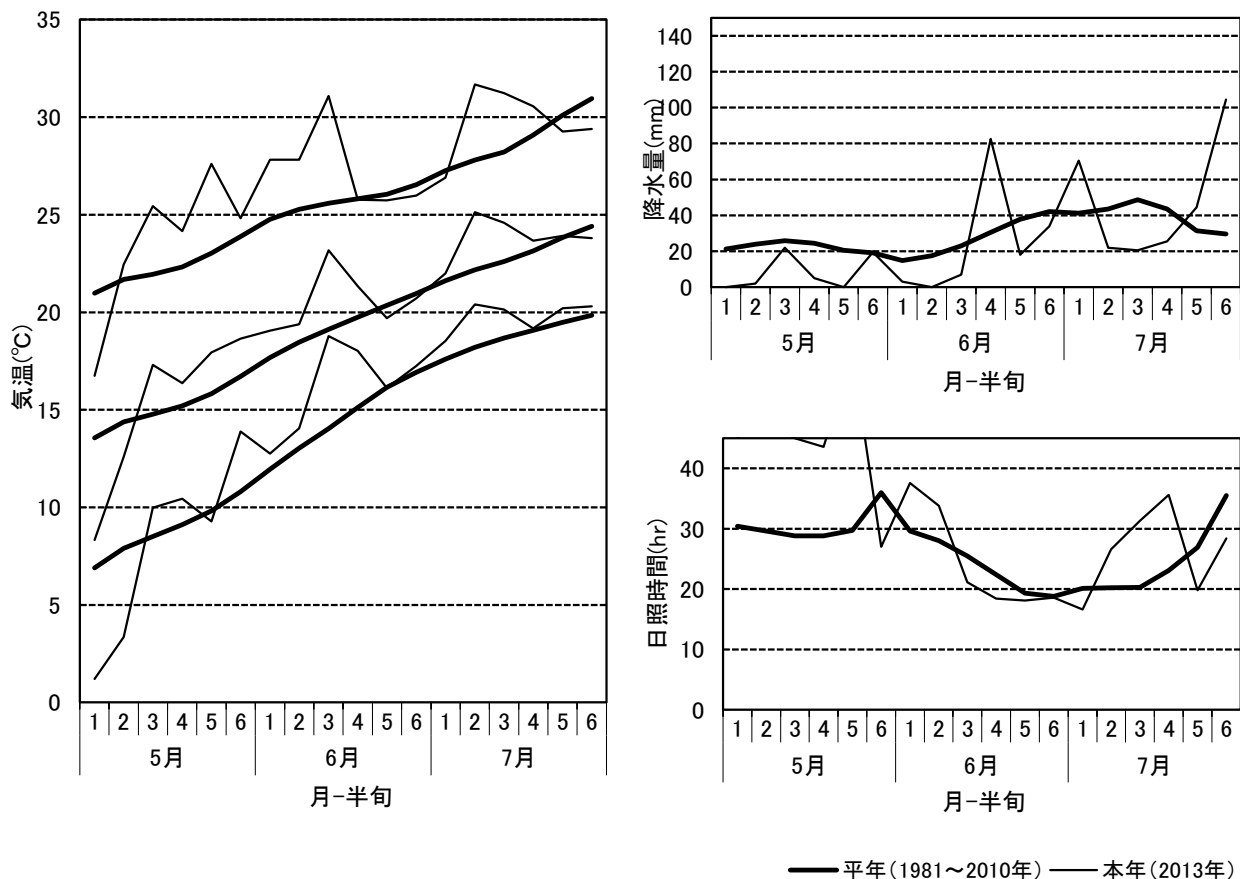
斑点米カメムシ類の適期防除に努める。使用する剤型により適期が異なるので留意し、適期を逃さないようにする。

出穂期～開花期は常時湛水とし、その後は間断灌水で管理する。早期の落水は品質や食味の低下を招くので、出穂後30日間は落水しないこと。

<参考> 前回調査時(7月31日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	93.6 (103%)	454 (90%)	3.6 (-1.2)	33.8 (-1.6)	13.9 (+1.3)
	前年	90.6	503	4.8	35.4	12.6
	平年	-	-	-	-	-
ひとめぼれ	本年	87.9 (101%)	488 (93%)	4.0 (-1.0)	37.1 (-2.1)	13.6 (+1.1)
	前年	87.1	527	5.0	39.2	12.5
	平年	-	-	-	-	-
たかやまもち	本年	-	-	-	-	-
	前年	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-
ひだほまれ	本年	-	-	-	-	-
	前年	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 7月31日現在)



岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>